

街歩きヒストリア



被爆により5体となった六地藏尊

禿翁寺

とくおうじ

東白島

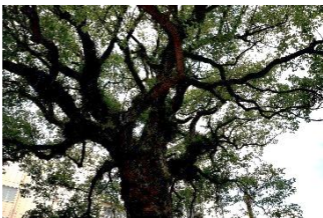
②1

広電白島線終点の電停から徒歩2、3分。紀州の禿翁上人が開基したこの寺は、浅野氏が紀州から転封された際、弟子の寂誉上人によって広島への地に移されました。

被爆によって本堂などは焼失しましたが、6体あった地藏尊のうち、崩壊した1体を除く5体の地藏尊が境内に残っており、その痛々しい姿が惨禍を今に伝えています。

境内には被災から蘇った被爆クスノキが大空に枝を広げており、緑樹の生命力に未来への希望を感じました。

(文・小川敏明さん)



中央公民館エリア（白島、基町、幟町）の街の魅力を歴史とともに紹介するコラム「街歩きヒストリア」の公募で集まった制作スタッフが編集します。

HP（検索：広島市中央公民館）にバックナンバーを掲載しています。ぜひご覧ください。